

ビジネス・ディベート講座

厳しい国際競争の時代を生き抜くには、社内にしる、社外にしる、最適なソリューションを提供していかなければなりません。そのためには、問題点を論理的に掘り下げ、最適解を見出し、それを伝達し、説得する技術が必要です。ディベートは、このような技術を養成するのに最適な手法です。

ディベートとは

ディベートとは、

- ある一つの論題について、
- 肯定側と否定側に分かれ、
- 一定のルールにしたがって、
- 根拠のある議論を戦わせて、
- 最後に第三者によって勝敗が下される

知的ゲームです。TV でよくある自由討論ではありません。

ディベートで身につく技術

ディベートを通じて養われる能力は、主に以下の4点です。

- 積極的に傾聴する能力
- 自分の意見を効果的に人に伝える能力
- 論理的に物事を考える能力
- 対立する側に立って物事を考える能力

ディベートがこれらの能力を養うのに適しているのは、試合の勝敗やジャッジのコメントによって、論理的に説得できたかがフィードバックされるからです。フィードバックのない訓練では、スキルは身につけません。

本講座の特徴

豊富な演習

本研修では、プログラムの2/3を演習にあてています。これにより、実務で活かせるスキルとしての定着を図ります。演習が少ないと、知識としてのディベートに終わってしまうので、ビジネスでは活かせません。

ビジネスでの応用も演習

本研修では、ディベートの技術を、議論や交渉の場でいかに応用するかにも多くの時間を割いています。これにより、ディベートで身につけた能力を、議論や交渉の場で使えるようになります。ディベートゲームができるようになることを研修の目的にはしません。

教育効果の高い形式を採用

本研修では、教室ディベート連盟が学校教育の場で推奨しているメリット・デメリット方式を採用しています。これにより、先に示した4つの能力を効果的に学習できます。講師による我流のディベートでは研修効果は高まりません。

本講座の概要

- ディベートとは～ディベートを見る
ディベートとはどのようなものかという概要を学びます。ビデオによるモデルディベートを通じて理解を深めます。
- ディベートの基本ルール～判定のポイント
ディベートゲームをするにあたり、基本のルールや各パートの考え方や具体例を学びます。立論、尋問、反駁、ジャッジのしかたを学びます。
- ディベートの準備
どのように準備するかを学んだ後、指定された論題でディベートゲームができるよう準備をします。ディベートゲームはチームで行いますので、準備もチーム単位で行います。
- ディベートゲーム
チームに別れて、ディベートゲームをします。2日間の研修で、1人最低3回のディベートゲームをします。講師のフィードバックにより、効率的に論理性の確認ができます。また、ジャッジをすることで、どちら側がより論理的であったかを論理的に説明する力も養います。
- ディベートに学ぶ論理的思考の技術
ディベートを通じて学んだ技術を使って、論理的思考の技術を深めます。特に、根拠を伴った主張をする、人の主張の根拠を確認する習慣を学びます。
- ディベートに学ぶ議論の技術
ディベートを通じて学んだ技術を使って、生産的な議論のしかたを学びます。特に、堂々巡りがなぜ起こり、どうすれば防止できて、論点を深められるのかなどについて学びます。
- ディベートに学ぶ交渉の基本
ディベートを通じて学んだ技術を使って、交渉の場で気をつけるべきことを学びます。Win-Lossではなく、Win-Winへの応用を学びます。